※令和３年度以前入学生用

学校番号	3021

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「改訂版　倫理」（数研出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「倫理」は、豊かで充実した人生を送るために、「この私とは何か」「私はどのように生きるべきか」といったことについて、先人の思想を手がかりに、悩み、考え、自らの方向を定めていくことをめざした学習です。

２　学習の到達目標

現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を利用し、読解しながら、現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身につける。また、自分の身近な事柄と関連させながら、各々が課題を見いだし、事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察できるようにし、民主的な社会に参加できるような能力と態度を身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	先人の思想や生き方、自分自身がどのようにあるかについて関心を高め、自分らしい自分になるために行動する意欲を持つとともに、これらにかかわる諸課題について、自分や他者、社会との関わりから学び考える態度を身につけているか。	これまで身についている知識や他者からの意見などを自分なりに結びつけ、そこから何が得られるのか想像し、自分の納得いく解答が導き出せているか。	資料をメディアや文献等を通して収集し、必要な情報を取捨選択し、まとめることができているか。また、発表の場面では、他者の意見も尊重しつつ、自分の言葉で発表できているか。	先人の思想や現代社会の特質についての基礎・基本的な知識を理解し、自らの人生観・世界観を形づくるための知識として身につけているか。
評価方法	授業態度 提出物	定期考査 提出物	定期考査 提出物	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	現代に生きる自己の課題、人間としての自覚	・青年期の意義と課題 ・ギリシア思想 ・キリスト教 ・イスラーム ・仏教 ・中国思想	○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	a:設定された主題について、意欲的に学び、興味関心を持とうとしている。 b:各宗教について、多面的・多角的に考察し、自分の意見を表現することができる。 c:各宗教について、有用な情報を選択して、読み取ったりまとめたりしている。 d:各宗教について理解し、その知識を身につけている。	授業態度 提出物 定期考査
2	現代に生きる人間の倫理	・理性への信頼と人間の尊厳 ・自然・科学技術と人間 ・個人・社会と自由 ・民主社会の倫理	○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○	a:設定された主題について、興味と関心を持つことができる。 b:設定された主題について、西洋近代の思想の理解を通して、考えることができる。 c:西洋近代の思想家について調べ、発表することができる。 d: 設定された主題について、西洋近代の思想を理解することができる。	授業態度 提出物 定期考査
3	現代の諸課題と倫理	・生命倫理 ・現代の環境問題 ・家族と地域社会 ・情報社会の功罪 ・さまざまな文化・宗教への理解 ・国際平和と人類の福祉	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:諸課題について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:諸課題について多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:諸課題について有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:諸課題について理解し、その知識を身につけている。	授業態度 提出物 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。